

令和8年度PTSD対策専門研修 B. 専門コース

1. 目的

本研修は、災害・事故・犯罪、児童虐待などのトラウマ的体験をされた方々で、何らかの精神症状や社会心理的困難を持っている方々に対して、適切な専門的医療・社会心理対応ができる人材を確保するために実施されます。そのために、認知行動療法（持続エクスポートージャー療法）による実際の治療事例を呈示し、患者の回復の可能性と経路を学習し、そうした回復に向けての治療と支援のあり方についての事例検討を行います。また、犯罪被害者支援を中心としたケースワーク、診断評価、最新の生物学的基盤、薬物療法などについての講義も行います。

この機会を積極的に活用され、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

2. 対象者

症例呈示のため、職業上守秘義務を持っている精神保健医療従事者（医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、社会福祉士、作業療法士、公認心理師、臨床心理士）。

過去に PTSD 研修 A.通常コースを受講していること。

3. 研修期間

令和8年12月～令和9年1月頃（2日間）

*B.専門コースは2回開催します。研修内容は同一です。

*詳細は9月上旬に当センターホームページにてお知らせいたします。

4. 研修主題

精神保健福祉センター、病院、保健所等において、PTSDに関する専門家が必要とされていることを踏まえ、精神保健医療従事者等に対し、最先端の専門的知識あるいは技術の習得をさせ、有効かつ安全に治療を行うことができる人材を養成する。

5. 課程内容

	(時間)
PTSDの診断と評価	(1.5)
トラウマ後の心理社会支援	(1.5)
PTSDの神経科学と薬物療法	(1.5)
PTSDのソーシャルワーク	(1.5)
PTSDの心理療法各論	(3.0)
複雑性PTSD	(1.5)
複雑性悲嘆の心理療法	(1.5)
合計	12時間

6. 定員

オンラインの場合：150名（予定）／対面の場合：60名（予定）

※応募者多数の場合は選考

7. 申込方法・期間

WEB（所属長の推薦書が必要です）

8. 受講料

20,000円（予定）

9. 会場

オンラインまたは 国立精神・神経医療研究センター（予定）

※2回ともオンライン開催となる可能性もございます